

~~~~~  
 政策学会消息  
 ~~~~~

《学会・研究会報告》

石原 凌河

「レジリエントな都市」日本都市計画学会関西支部都市計画セミナー「アドバンストコース」、関西大学梅田キャンパス（2018年11月）
 「逆ベクトル型防災学習のポテンシャルティ：和歌山県広川町における実践事例から」日本安全教育学会第19回横浜大会、國學院大學 横浜たまプラーザキャンパス（2018年9月）、近藤誠司、植竹遥、石原凌河の共同報告
 「災害遺構の貨幣価値評価に関する研究」2018年度日本建築学会全国大会（東北）学術講演会、東北大学川内キャンパス（2018年9月）

北川 秀樹

「中国の都市生活廃棄物に関する住民意識と政策」日本環境学会第44回研究発表会、三重大学（2018年6月）
 「環境政策の進展と課題——改革開放40年の歩みと今後の行方——」日本現代中国学会第68回全国学術大会企画分科会司会・進行、早稲田大学（2018年10月）
 「日本の廃棄物・リサイクル法制度と課題」日中環境政策ワークショップ、福建師範大学（2019年3月）

松浦さと子

「メガイベントとNPO 愛知万博の事例から」日本NPO学会第20回大会記念セッションパネラー、立教大学（2018年6月）
 「マイノリティを包摂するコミュニティ放送——包摂型番組の事例から——」（小川明子と共同発表）日本社会学会、甲南大学（2018年9月）
 学生セッションモデレーター、日本NPO学会第21回大会、龍谷大学（2019年6月）

村田 和代

Discursive manifestations of hierarchy in meeting discourse in Japan Paper, in the multi-

paper sessions entitled as “How globalised are Japanese workplaces really? — struggles with idealization and actual practices”, the 22nd Sociolinguistics Symposium, University of Auckland, New Zealand, 2018/06/28.

A preliminary study of identity construction of persons of Japanese descent in interview narratives, in the multi-paper sessions entitled as “Japan, migration, diversity and a potential multicultural future? Fairness, choices and change”, the 22nd Sociolinguistics Symposium, University of Auckland, New Zealand, 2018/06/29.

「グローバル人材育成プログラムの有効性——異文化間ビジネスコミュニケーションの観点から」第78回国際ビジネスコミュニケーション学会全国大会 近畿大学（2018年10月14日）上野敏寛氏と共同発表

「職場談話研究からの提案」公開特別シンポジウム『異文化理解 多文化共生——ミクロ・マクロアプローチからみる「ことば」の諸問題』日本英語学会 第36回大会、横浜国立大学（2018年11月24日）

「揺れるアイデンティティ——日本在住日系人へのインタビューナラティブの談話分析——」第43回社会言語科学会研究大会、筑波大学（2019年3月17日）

《著書・共著・論文・翻訳》

石倉 研

(著書)「第4章：条件不利な農業・農山村を支える仕組み：EU とオーストリア」寺西俊一・石田信隆・山下英俊編『農家が消える：自然資源経済論からの提言』みすず書房、pp. 159-196、2018年10月（藤井康平との共著）

「第2章：農業・農山村を支える制度と政策」寺西俊一・石田信隆編『輝く農山村：オーストリアに学ぶ地域再生』中央経済社、pp. 25-59、2018年12月

「コラム2：有機食品の認証制度と有機食品を求める消費者」同上所収、pp. 60-61。

「第5章：自然の恵みを活かしたエネルギーと地域の自立」同上所収、pp. 123-146（藤井康平との共著）

「第5章補論：オーストリアの電力自由化と再生可能エネルギー支援政策」同上所収、pp. 147-153

「コラム5：原発とオーストリア」同上所収、pp. 154-155

「巻末補録2：オーストリア現地調査先（第1回～第5回）一覧」同上所収、pp. 200-201。

(論文)「オーストリアにおける農業環境政策と農林業所得」『環境と公害』第48巻第1号、pp. 56-62、2018年7月

(その他)「森林環境税の現状と課題」『夜スク〈環境学〉講座』、カフェスロー、2018年7月12日

「オーストリアに学ぶ農業・農山村のあり方」『夜スク〈環境学〉講座』、カフェスロー、2018年7月19日

北川 秀樹

(論文)「中国の環境法政策の進展と今後の課題——習近平政権下の動向を中心に——」『人間と環境』、44巻3号、査読有、2018年10月

(翻訳)王莎「陝西省漢中地区政府の農業景観観光支援政策に関する研究——日本の農村観光との比較から——」『龍谷政策学論集』、8巻1・2合併号、pp. 79-86 2019年3月

石原 凌河

(論文)「事前復興まちづくりに向けた被災経験談の活用に関する研究」龍谷政策学論集 Vol. 8、No. 1・2、pp. 17-27、2019年3月、石原凌河・井上翔太・岡村周哉・國分ひかり・茂木佑馬の共著

「災害遺構の価値構成に関する研究」都市計画論文集 Vol. 53、No. 3、pp. 823-829、2018年10月（査読有り）

(資料)「阪神・淡路大震災後の「まちづくり」の展開」日本都市計画学会関西支部だより Vol. 33、pp. 4-5、2019年3月

「被災経験の伝承を基盤とした事前復興まちづくりの可能性」地域安全学会ニューズレター、No. 105、pp. 30-34、2018年10月

「南海トラフ巨大地震の被害想定に対する居住継続意思に関する一考察：被災経験を基盤とした事前復興まちづくりの展開に向けて」2018年度日本建築学会大会（東北）都市計画部門研究協議会資料集「復興まちづくりと空間デザイン技術」、pp. 97-98、2018年9月

「文献レビュー1：阪神・淡路大震災における市街地復興プロセスからの示唆」ランドスケープ研究 Vol. 82、No. 2、pp. 104-105、2018年7月

松浦さと子

(著書)「英国のコミュニティメディア」渡辺武達、金山勉、野原仁編『メディア用語基本事典』第二版、世界思想社、p. 17、2019年

(資料・報告書)「第20回大会記念セッション報告 これからの市民社会のデザイン メガイベントとNPO、市民社会」日本NPO学会ニューズレター Vol. 20 No. 1 通巻70号、p. 6、2018年9月

「2-3. 『認知症』の『価値』を見出す メディアに描かれた存在から、記録し表現する主体へ」『インクルーシブなメディア社会に向けて平成27-29年度科学研究費補助金（基盤C15K00464）地域における社会的包摂とメディアをめぐる実践的研究報告書』研究代表者 小川明子 pp. 29-38、2018年3月 <https://inclusive-media.net/index.html>

「2-4. 監視か、見守りか 認知症の人を見守るメディアとは 安心して外出（徘徊）できる地域社会をつくるために」『インクルーシブなメディア社会に向けて 平成27-29年度科学研究費補助金（基盤C 15K00464）地域における社会的包摂とメディアをめぐる実践的研究報告書』研究代表者 小川明子 p. 39-47、2018年3月 <https://inclusive-media.net/index.html>

村田 和代

（著書）『話し合い研究の多様性を考える』（シリーズ『話し合い学をつくる』第2巻）2018年9月、ひつじ書房（編者）

「話し合い学の領域と研究課題」村田和代（編）『話し合い研究の多様性を考える』（シリーズ『話し合い学をつくる』第2巻）ひつじ書房、pp. 1-19、2018年9月。（井関崇博氏と共著）

『聞き手行動のコミュニケーション学』2018年12月、ひつじ書房（編者）「リスナーシップとラポール形成——まちづくりの話し合いのファシリテーターに着目して」村田和代（編）『聞き手行動のコミュニケーション学』ひつじ書房、pp. 135-155、2018年12月

（論文）「ナラティブの相互行為的談話分析」『国際社会文化研究所紀要』第20号、pp. 161-172、2018年6月

（その他）（文部科学省検定高等学校教科書）編集委員、Revised BIG DIPPER English Communication. 数研出版